

# 平成23年度 新十津川町の人事行政運営の状況

## 【1】給与・定員管理の状況

### 1 総括

#### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (平成23年3月末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 前年度の人件費率
平成22年度	人 7,189	千円 6,077,100	千円 241,992	千円 906,332	% 14.9	% 14.7

(注) 平成22年度人件費には、3年毎に支払う退職手当精算納付金の額が含まれています。

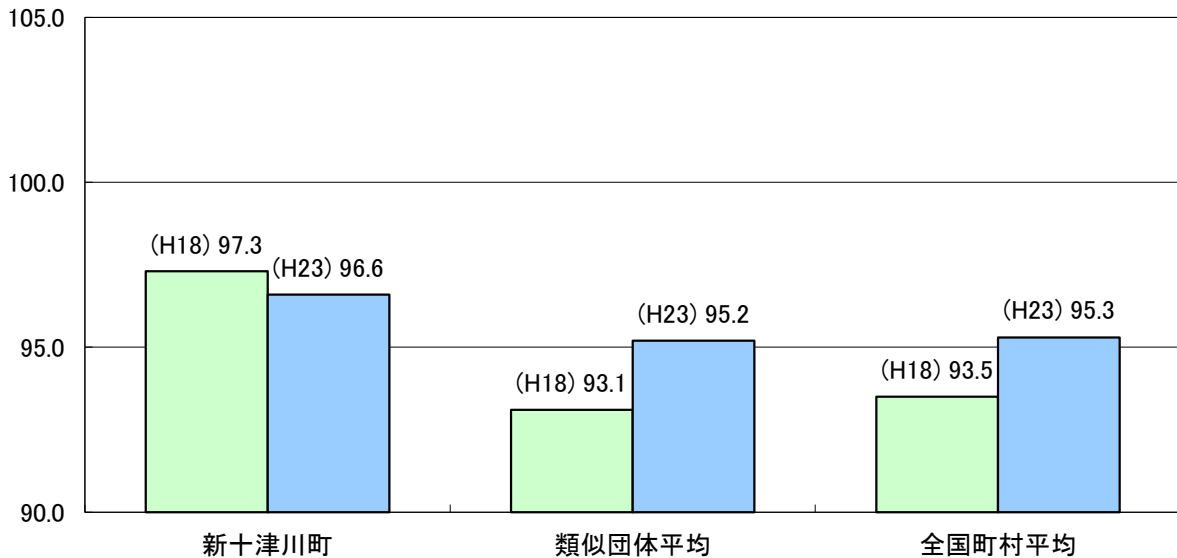
#### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤労手当	計B		
平成22年度	99人	千円 404,555	千円 78,263	千円 145,698	千円 628,516	千円 6,349	千円 5,717

(注) 1 職員手当に退職手当は含まれていません。

2 職員数は、平成22年4月1日現在の普通会計に所属する職員数です。

#### (3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

2 類似団体平均とは、人口規模や産業構造が似た町村のラスパイレス指数を平均したものです。

## 2 一般行政職給料表の状況（平成23年4月1日現在）

(単位：円)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の 給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600
最高号給の 給料月額	243,700	309,200	356,400	390,100	402,500	424,600

### 3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

#### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成23年4月1日現在）

##### ①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額 (実態調査数値)	平均給与月額 (国ベース)
新十津川町	44.6 歳	342,500 円	400,100 円	372,800 円
北海道	45.3 歳	327,401 円	395,579 円	373,413 円
国	42.3 歳	327,205 円	—	397,723 円
類似団体	43.4 歳	322,165 円	375,584 円	352,415 円

##### ②技能労務職

区 分	公務員				対応する民間 の類似職種	民間		参考 A / B
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)		平均年齢	平均給与月額 (B)	
新十津川町	47.5 歳	295,875 円	353,681 円	339,736 円	自家用乗用自動車運転者	50.7歳	246,300円	1.4
北海道	48.8 歳	317,658 円	348,522 円	349,305 円	—	—	—	—
国	49.5 歳	283,862 円	—	321,662 円	—	—	—	—
類似団体	50.1 歳	302,584 円	328,341 円	319,177 円	—	—	—	—

区 分	参考 年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C / D
	新十津川町	5,711,172円	3,409,700円
北海道	5,764,264円	—	—

※民間データは、賃金構造基本統計において公表されているデータを使用している。（平成20～22年3ヶ年平均）

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較のあたり、年齢、業務内容、雇用形態の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員（C）」及び「民間（D）」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

※北海道、国及び類似団体の数値については、自動車運転手のほか守衛、用務員、学校給食員などの技能労務職を含む平均値となっている。

##### ③医療職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
新十津川町	34.4 歳	282,033 円	320,391 円	299,317 円
北海道	—	—	—	—
国	45.5 歳	314,065 円	—	343,856 円
類似団体	42.3 歳	308,560 円	348,987 円	322,910 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成23年4月1日現在における、各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額（実態調査数値）」とは、地方公務員給与実態調査において明らかにされている、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものです。また、「平均給与月額（国ベース）」は国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

#### (2) 職員の初任給の状況（平成23年4月1日現在）

区 分		新十津川町	北海道	国
		初任給	初任給	初任給
一般行政職	大学 卒	172,200 円	159,285 円	172,200 円
	高校 卒	140,100 円	129,592 円	140,100 円
技能労務職	大学 卒	172,200 円	—	—
	高校 卒	140,100 円	129,592 円	137,200 円
医療職	大学 卒	201,100 円	—	201,100 円
	高校 卒	153,300 円	—	153,300 円

#### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成23年4月1日現在）

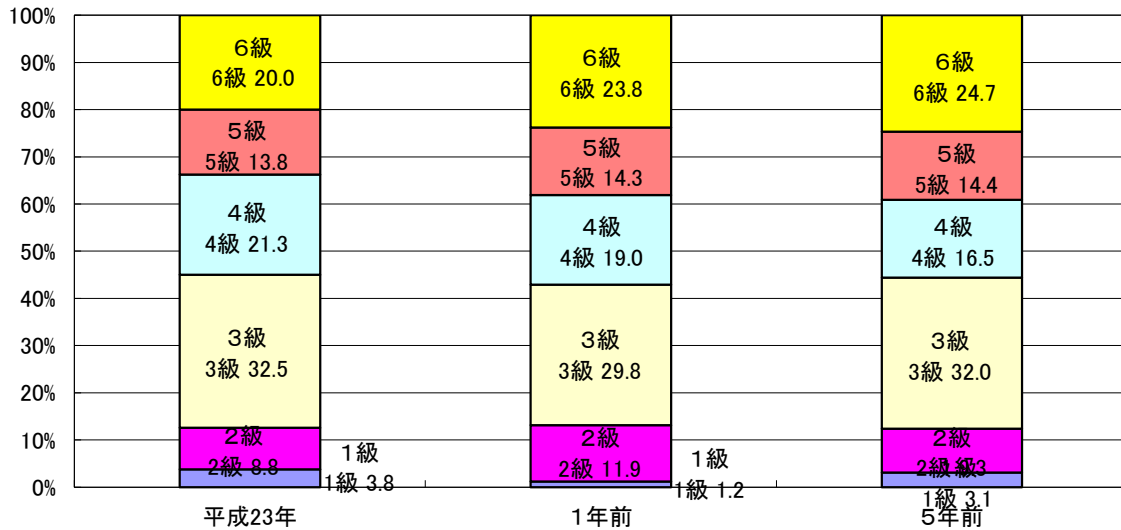
区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学 卒	280,800 円	311,600 円	369,000 円
	高校 卒	— 円	283,400 円	315,400 円
技能労務職	高校 卒	— 円	— 円	— 円
	中学 卒	— 円	— 円	— 円
医療職	大学 卒	— 円	— 円	— 円
	高校 卒	— 円	— 円	— 円

#### 4 一般行政職の級別職員数等の状況

##### 一般行政職の級別職員数の状況（平成23年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比		
			平成23年	1年前	5年前
6級	課長・主幹	16人	20.0%	23.8%	24.7%
5級	グループ長	11人	13.8%	14.3%	14.4%
4級	主査	17人	21.3%	19.0%	16.5%
3級	主任	26人	32.5%	29.8%	32.0%
2級	主事	7人	8.8%	11.9%	9.3%
1級	主事	3人	3.8%	1.2%	3.1%

- (注) 1 新十津川町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な役職です。



#### 5 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

新十津川町	北海道	国
1人当たり平均支給額（平成22年度） 1,467千円	1人当たり平均支給額（平成22年度） 1,582千円	—
（平成22年度支給割合） 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 （1.45）月分 （0.65）月分	（平成22年度支給割合） 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 （1.45）月分 （0.65）月分	（平成22年度支給割合） 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.35月分 （1.45）月分 （0.65）月分
（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による 加算措置 ・役職加算 4～10%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による 加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による 加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

(2) 退職手当 (平成23年4月1日現在)

新十津川町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例 (2~20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例 (2~20%加算)	
1人当たり 平均支給額	22,180千円				

(注) 1 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

(3) 時間外勤務手当

支給実績 (平成22年度決算)	16,470千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (平成22年度決算)	246千円
支給実績 (平成21年度決算)	17,817千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (平成21年度決算)	226千円

(4) その他の手当 (平成23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国との異同	異なる場合の国の内容	支給実績 (平成22年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成22年度決算)
扶養手当	・配偶者 13,000円 ・1人(配偶者あり) 6,500円 ・1人(配偶者なし) 11,000円 ・特定加算(16~22歳) 5,000円	同		18,917千円	255,635円
住居手当	・借家 27,000円を限度に支給 (家賃12,000円を超える場合) ・持家 13,500円 (町外所有の場合は10,000円)	異	持家 0円	17,841千円	183,928円
通勤手当	2,000円~25,000円	異	支給限度額 55,000円	296千円	24,667円
単身赴任手当	2,000円~25,000円	同		0千円	0円
日直手当	4,200円 (勤務時間5時間未満の場合50/100)	同		489千円	5,621円
寒冷地手当	・世帯主(扶養あり) 26,380円 ・世帯主(扶養なし) 14,580円 ・その他の職員 10,340円	同		11,679千円	113,388円
管理職手当	課長職 36,000円 主幹職 33,000円 課長補佐職 29,000円	異	(職種により異なる)	13,139千円	386,441円

## 6 特別職の報酬等の状況（平成23年4月1日現在）

区 分	給 料 月 額 等	
	給料月額	(参考) 類似団体における最高/最低額
給 料	町 長 ( 663,000 円 784,000 円)	809,400 円 / 364,500 円
	副町長 ( 603,000 円 631,000 円)	671,700 円 / 365,000 円
	教育長 ( 554,000 円 568,000 円)	—
報 酬	議 長 ( 271,000 円 279,000 円)	364,000 円 / 220,000 円
	副議長 ( 214,000 円 221,000 円)	285,000 円 / 168,100 円
	議 員 ( 184,000 円 189,000 円)	263,000 円 / 135,800 円
期 末 手 当	町 長 副町長 教育長	(平成22年度支給割合) 6月期 1.925 月分 12月期 1.975 月分
	議 長 副議長 議 員	(平成22年度支給割合) 6月期 1.925 月分 12月期 1.975 月分
	退 職 手 当	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期)
	町 長 副町長 教育長	給料月額 × 20.504 月 13,594,152 円 退職後1ヵ月以内 給料月額 × 12.936 月 7,800,408 円 退職後1ヵ月以内 給料月額 × 11.352 月 6,289,008 円 退職後1ヵ月以内

(注) 1 給料及び報酬欄の( )内は、特例措置条例による減額措置を行う前の金額です。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当額の見込額です。

## 7 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

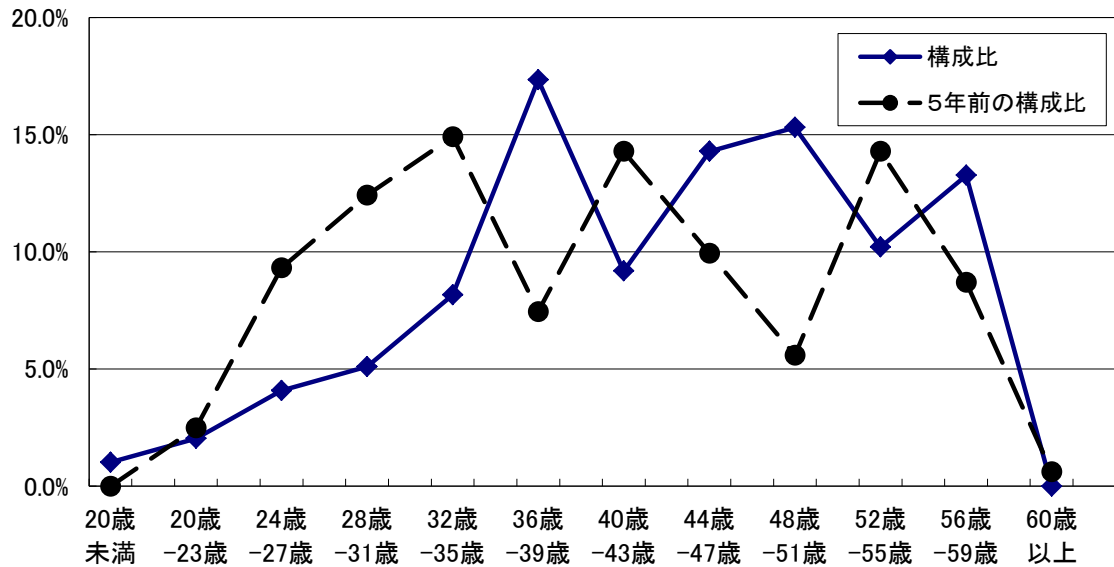
(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由	
		平成22年	平成23年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	2人	2人	0人	退職欠員不補充 異動による増 他団体へ派遣 異動による減
		総 務	27人	24人	▲3人	
		税 務	7人	8人	1人	
		農林水産	9人	8人	▲1人	
		商 工	5人	5人	0人	
土 木		11人	11人	0人		
民 生		12人	11人	▲1人		
衛 生	8人	8人	0人			
	計	81人	77人	▲4人	<参考> 人口1,000人あたり職員数 10.71 人 類似団体の人口1,000人あたり職員数 11.88 人	
	教育部門	18人	17人	▲1人	退職欠員不補充	
	小 計	99人	94人	▲5人	<参考> 人口1,000人あたり職員数 13.08 人 類似団体の人口1,000人あたり職員数 14.58 人	
公 営 企 業 会 計 等 部 門	下 水 道	1人	1人	0人		
	そ の 他	3人	3人	0人		
	小 計	4人	4人	0人		
合 計		103人 [110]人	98人 [110]人	▲5人 [0]人	<参考> 人口1,000人あたり職員数 13.60 人	

(注) 1 職員数は、一般職に属する職員数です。

2 [ ]内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (平成23年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳-23歳	24歳-27歳	28歳-31歳	32歳-35歳	36歳-39歳	40歳-43歳	44歳-47歳	48歳-51歳	52歳-55歳	56歳-59歳	60歳以上	計
H23	職員数	1人	2人	4人	5人	8人	9人	14人	15人	10人	13人	0人	98人
	構成比	1.0%	2.0%	4.1%	5.1%	8.2%	9.2%	14.3%	15.3%	10.2%	13.3%	0.0%	100.0%
H18	職員数	0人	4人	15人	20人	24人	12人	23人	16人	9人	23人	14人	161人
	構成比	0.0%	2.5%	9.3%	12.4%	14.9%	7.5%	14.3%	9.9%	5.6%	14.3%	8.7%	100.0%

(3) 職員数の推移

(単位：円)

区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年	過去5年間の増減数(率)
部門別							
一般行政	106人	89人	87人	83人	81人	77人	▲29人 (-27.4%)
教育	22人	20人	19人	18人	19人	18人	▲4人 (-18.2%)
普通会計計	128人	109人	106人	101人	100人	95人	▲33人 (-25.8%)
公営企業会計計	34人	4人	4人	4人	4人	4人	▲30人 (-88.2%)
総合計	162人	113人	110人	105人	104人	99人	▲63人 (-38.9%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

## 【2】職員の任免に関する状況

### 1 採用及び退職に関する状況

#### (1) 平成23年度新規採用の状況

区分	人数
一般事務職	2人
技能労務職	0人
医療職	0人

#### (2) 平成22年度退職者の状況

区分	自己都合	勸奨退職	定年退職	公務外傷病	公務外死亡 通勤災害傷 病 通勤災害死	整理退職 公務上傷病 公務上死亡	計
一般事務職	1人	人	4人	人	人	人	5人
技能労務職	人	人	1人	人	人	人	1人
医療職	人	人	人	人	人	人	0人

### 2 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

#### (1) 勤務時間の状況（平成23年4月1日現在）

週の勤務時間	開始時間	終了時間	休憩時間	休憩時間	週休日
38時間45分	8:45	17:30		12:00~13:00	土曜・日曜

#### (2) 年次有給休暇の取得状況

総付与日数 A	対象職員数 B	総取得日数 C	平均取得日数 C/B
4,046日	103人	822日1時間	8日0時間

#### (3) 特別休暇等の状況

区分	付与内容等	付与期間	給与の支給
病 気 休 暇	負傷又は疾病のため療養する必要がある、その勤務しないことがやむを得ないと認められる場合	90日以内	有給
特 別 休 暇	公民権の行使	任命権者の許可を得て、登録された職員団体の業務又は活動に従事する場合	必要と認める期間
	公の職務執行	選挙権その他公民としての権利を行使する場合	必要と認める期間
	骨髄液提供	骨髄移植のための骨髄液提供のために検査、入院等が必要な場合	必要と認める期間
	社会貢献活動	被災地支援、ボランティア等の活動を行う場合	5日以内
	結 婚	結婚する場合で、結婚式、旅行その他の結婚に伴い必要と認められる行事等を行う場合	連続する5日以内
	産 前	出産予定の女子職員が申し出た場合	出産予定日の6週間前から出産の日まで
	産 後	出産した女子職員が申し出た場合	出産の日の翌日から8週間後まで
	育児時間	生後1年に達しない子を育てる職員が、その子の保育のために必要と認められる授乳等を行う場合	1日2回各30分以内
	妻の出産	妻（届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む）が出産する場合	2日以内
	妻の出産に係る子の養育	妻の出産に伴い、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合	5日以内
	子の看護	負傷中又は疾病中の小学校就学の始期に達するまでの子を看護する場合	5日以内（2人以上の場合は10日以内）
	短期介護	要介護者の介護をする場合	5日以内（2人以上の場合は10日以内）
	忌 引	職員の親族が死亡したとき	親等により1日～7日以内
	父母の祭日	父母の法要等を行う必要がある場合	1日以内
	夏 季	夏季における盆等の諸行事や、心身の健康増進及び家庭生活の充実を図る場合	週休日等を除く連続する3日以内
被 災	地震、水害、火災その他の災害により住居の復旧作業等を行う場合	7日以内	
災害又は交通機関の事故等	地震、水害、火災その他の災害又は交通機関の事故等により出勤することが著しく困難である場合	必要と認める期間	
介 護 休 暇	負傷、疾病又は老齢により、2週間以上にわたり親族を介護しなければならない場合	連続する6月以内	
組 合 休 暇	登録された職員団体の業務又は活動に従事する場合	30日以内	

### 3 職員の分限及び懲戒処分の状況（平成22年度）

処分の種類		処分者数	処分の対象事項
分限処分		0人	一 勤務実績が良くない場合
			二 心身の故障のため、職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合
			三 前二号に規定する場合の外、その職に必要な適格性を欠く場合
			四 職制若しくは定数の改廃又は予算の減少により廃職又は過員を生じた場合
懲戒処分	免職	0人	一 地方公務員法又はこれに基く条例、地方公共団体の規則若しくは地方公共団体の機関の定める規程に違反した場合 二 職務上の義務に違反し、又は職務を怠った場合 三 全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合
	停職	0人	
	減給	0人	
	戒告	0人	

### 4 公平委員会の状況（平成22年度）

区 分	件数
勤務条件に関する措置の要求の件数	0件
不利益処分に関する不服申立ての件数	0件
苦情処理の件数	0件

### 5 職員の研修及び勤務成績の評定の状況（平成22年度）

#### (1) 研修の状況

区 分		人数	備 考
職場外 研修	空知管内町村会基礎研修	2人	対象：当該年度採用職員
	空知管内町村会初級研修	2人	対象：採用後1年経過職員
	空知管内町村会監督者研修	1人	対象：新任主査職
	北海道市町村職員研修センター管理能力研修	2人	対象：新任グループ長職
	北海道市町村職員研修センター指導能力研修	2人	対象：新任主査職
	北海道市町村職員研修センター地方公務員法研修	2人	対象：技能労務職
	北海道市町村職員研修センター一般研修	5人	対象：所属長が指名する者
	自治大学校	2人	対象：グループ長職又は主査職で町長が指名する者
	スキルアップ研修	10人	対象：所属長が指名する者
	自主研修	8人	応募件数：前期 件、後期 件（年2回募集）
職場内 研修	中空知ふるさと市町村圏合同研修	2人	対象：当該年度採用職員
	健康教室	80人	対象：全職員

#### (2) 勤務成績の評定の状況

該当なし。現在人事考課制度策定作業を進めています。

### 6 職員の福祉及び利益の保護の状況（平成22年度）

#### (1) 職員の健康診断の状況（平成22年度）

健康診断 受診対象者数	受診者数	受診率	未受診の主な理由
106人	105人	99.1%	個人の都合により本人の定期検査で受診したため

#### (2) 職員の公務災害補償の状況（平成22年度）

加入団体	災害件数
地方公務員災害補償基金北海道支部	公務災害 0件
	通勤災害 0件

#### (3) 職員互助会の状況（平成22年度）

団体名	構成人数	事業費	財源内訳		
			会費等	町助成金	公費負担率
新十津川町職員互助会	人 111	千円 3,716	千円 3,608	千円 108	% 2.9